

令和4年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	02	01	05	124070	市有財産適正管理事業費	
総合計画	分野	05	行政経営		政策 02 持続可能で健全な財政経営	
	施策	03	市有財産の適正な管理			
目的	持続可能で健全な財政運営のため、市有財産の適切な維持管理と有効な活用を図る。					
対象	市有財産					
意図	財産収入の増及び維持管理経費の削減のため、未利用市有財産の活用及び削減を図る。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設マネジメント計画の推進 4,114千円 ○公共施設の更新・統廃合や長寿命化等を計画的に行う公共施設マネジメントの推進 ○市有財産の最適利用 6,310千円 ○市有財産の売却等 「まん福」跡地広場整備測量設計 東和田瀬地域の公共施設解体実施設計 					
市民参加の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	市有財産公募件数	件	計画	3.00	8.00	
			実績	5.00	0.00	
2	未利用市有財産貸付件数	件	計画	60.00	32.00	
			実績	41.00	36.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	未利用市有財産収入	千円	目標	40,000.00	43,183.00	
			実績	32,994.00	121,095.0	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
利活用の予定のない市有財産は、不動産鑑定評価及び土地の測量調査等により適正な価格を確認し、市有財産を売却するとともに貸付を行い、遊休財産の有効活用を図った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市有財産に関することであり、市が主体的に取り組む事務事業である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	売却、貸付可能物件の選定により、件数の向上余地がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	各事業にかかる経費は必要最小限としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市有地の公売は公募により行い、貸付は貸付要領に基づいて行うこととしており、特定の者を受益者としなから、公平適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	○ 適正である	
	今年度の振り返り	利活用の予定のない市有財産について、適切な価格で売却すること及び土地貸付を行うことにより、財産収入の増と維持管理コストの削減を図った。公共施設の最適な施設保有量・配置・コストの縮減、平準化を実現するため、公共施設マネジメント計画の実施計画のローリング及び花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】へ効果額等を反映させた改訂を進める。
	次年度に向けて	引き続き、利活用の予定のない市有財産について、適切な価格で売却すること、及び土地貸付を行うことにより、財産収入の増と維持管理コストの削減を図る。公共施設の最適な施設保有量・配置・コストの縮減、平準化を実現するため、公共施設マネジメント計画の実施計画のローリング及び花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】へ効果額等を反映させた改訂を進める。また、令和6年度からの公共施設マネジメント計画の第2次実施計画の策定を進める。

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	05	124080	庁舎設備等改修事業費		
総合計画	分野	05	行政経営	政策	02 持続可能で健全な財政経営		
	施策	03	市有財産の適正な管理				
目的	庁舎を安全安心に使うため、老朽化した設備等の改修を行い、長寿命化を図る。						
対象	本庁舎及び3総合支所						
意図	設備等の改修により、庁舎の安全確保と省エネルギー化を図り、適切な維持管理を行う。						
事業概要	<p>○本庁舎設備改修事業 31,292千円 P C B 廃棄物処理 議場照明設備改修工事</p> <p>○大迫総合支所設備改修事業 8,250千円 火災報知・非常用放送設備更新 L E D 照明器具更新実施設計</p>						
市民参画の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	設備改修	件	計画	3.00	2.00		
			実績	3.00	2.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1			目標				
			実績				
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
事業内容が既存設備の改修を行うものであることから、成果指標の設定にはなじまないため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市有財産に関することであり、市が主体的に取り組む事務事業である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
有効性	<input type="checkbox"/> 妥当でない	
	成果の向上余地	最新の設備を取り入れることにより、効率化を図る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	各事業にかかる経費は必要最小限としている。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市有財産に関することであり、特定の者を受益者としなから公平適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価	<input type="radio"/> 適正である	
	今年度の振り返り	庁舎の設備等について、最新の機器に改修もしくは修繕することにより、より効果的な施設とすることができた。更に施設の長寿命化が図られ、行政コストの削減につながった。
次年度に向けて	引き続き、各庁舎の設備等について、最新の機器に改修もしくは修繕することで、より効果的な施設としていく。更に施設の長寿命化を図り、行政コストの削減につなげていく。	